

特定非営利活動法人大阪マスタース陸上競技連盟 2025年第47回理事会 議事概要

- 招集月日 2025年12月10日(土)
- 開催日時 2025年12月23日(火) 18時30分～20時40分
- 開催場所 難波市民学習センター 第4研修室
大阪市浪速区湊町1-4-1 OCATビル4階
- 理事総数 24人
- 出席者数 23人(本人出席 16人、議決権行使者：7人) 出席監事 2人

会 長 椎木 茂久

副 会 長 山中 保博

専務理事 井指 康裕

常務理事 安達 芳恵、池上 健三、*小西 宏之*、坂下 勝正、柴田 秀治、並川 耕士、深尾 真美、藤田 幸久、三宅 要、村井 正信

理 事 糸原 一輝、大倉 節子、大野 鐘三、数野 哲也、熊取谷 信子
津田 光央、鶴川 久寿、中島 静一、早川 禎一、升田 昭
森井 正和

監 事 塚口 洋之、福本 康史

(注) 氏名の下線は議決権行使者。 斜体字は欠席者。

1. 開 会

井指康裕専務理事進行のもと、同専務理事が18時30分現在における理事総数24人に対する出席者数が22人(本人出席15人、議決権行使者7人)と定足数を充足していることを確認し、18時32分に開会を宣言した。

(注) 最終理事出席者数23人(本人出席16人、議決権行使者7人)。監事；2人

2. 議長、議事録署名人および議事録作成者の選任

椎木茂久会長のあいさつの後、定款第35条の規定により会長が専務理事を議長に指名。井指専務理事が議長となり、議事録作成者に池上健三氏、議事録署名人に、安達芳恵、熊取谷信子の両氏を選任したい旨を述べ、これを諮ったところ満場一致で承認されたので、直ちに議案審議に入った。

3. 議案の経過要領および議案別議決の結果

第1号議案 2026年度会報発行計画・編集委員について

議長から2026年度の会報発行計画について次の説明がなされた。

①2025年度と同様の内容で、要項集は別冊とし、3月に900部を発行する。

②編集委員は、並川耕士氏を主任とし、委員に井指康裕、池上健三、藤田幸久、三宅

要の各氏とし、事務局から安達芳恵、坂下勝正の両氏が加わる。
③Web 会報の発行を継続して検討をしていく。

Web 会報について糸原一輝理事から会報を PDF にしてホームページに掲載する方法で良いのでは、という意見が出された。これについて、ホームページと同程度の内容で確認することとなった。

第 1 号議案に対し、上記以外に意見・要望等が出ないため、議長が賛否を諮ったところ全員異議なく承認、可決された。

第 2 号議案 2026 年度通常総会と継続登録案内等について

議長から 2026 年度大阪マスターズ総会および年会費納入（会員登録ほか）等の会員向け各種案内について 今月 26 日に発送する予定で作業を進めているとの説明があった。

第 2 号議案に対し、特に意見・要望等が出ないため、議長が賛否を諮ったところ全員異議なく承認、可決された。

第 3 号議案 2026 年度役員改選等について

①常務理事の仕事の分担（主担当）を明確にする

議長から 2026 年度の総会は役員改選期となるので役員の若返りと改選後を見据えた常務理事の業務分担を含めた理事の担当業務の見直しと割振りについての説明がなされこれらの説明を受けて次のような意見・要望等が出された。

・ポストがなくなる人や常務理事から理事になる人や理事を降りたい人など全員意思確認できているのか。

・全理事を対象にした担当の一覧表を作成し、各理事に意思確認する方が良い。

・前回までは、理事を続けるかどうかの意思確認を行っていた。

・会長、副会長、専務理事、常務理事は理事の互選となっている。定款では副会長は 4 人以内となっており、副会長を空席にはできない。

これらの意見・要望等を受けて、井指専務理事から本件は 1 月 6 日の常務理事会で本人確認を含めて改めて検討するとの説明がなされた。

②IT 部会の新設（設備保守は大会運営関連 PC と事務所の PC を含む）

担当の詳細は次回の常務理事会で確認する

情報機器調整委員会の糸原理事から同委員会は競技会運営がメインであるが、事務所の PC に問題が生じれば対応するとの説明がなされた。

第 3 号議案に対し、上記以外に意見・要望等が出ないため、議長が賛否を諮ったところ全員異議なく 1 月 6 日の常務理事会で再検討、確認することが了承された。

第4号議案 2025年度事業の総括と2026年度の事業運営について

1.2025年度事業の総括

井指専務理事から2025年度事業報告書(概況)を基に報告がなされた。

2.2026年度の事業運営(案)

井指専務理事長から2026年度の事業運営の基本方針について次のような説明がなされた。

①事業日程(案)

競技会はヤンマーフィールド2回、服部緑地2回、研修会は服部緑地2回とし、日本陸連から通知のあった7~8月の競技会開催を避ける暑熱対策にも合致している。

②審判依頼および依頼のスケジュール

③競技会のWeb申込みの推進 12月24日(大阪マ事務所・16:00~)で村井正信、藤田幸久、三宅要の常務理事3氏でWeb申込み(Googleフォームの活用)とハガキ依頼の併用について打合せを行う。審判編成担当の村井常理事から投てき種目については、学生審判員以外に補助員の要請を行う予定の考え方が示された。

④大阪マスターズ会員以外も競技会参加のWeb申込みをさらに一層推進していく。

⑤上陸システム

現在使用している「上陸」ソフトでのプログラム、ダイヤ編成ができる人を育成したい。

⑥2026年度の競技種目の設定

審判員の負担軽減のため競技会ごとに提案どおり競技種目の取捨選択を行う。

これに関連して、糸原理事からトラック種目には休憩時間がプログラムに明記されているのにフィールド種目にはないので休憩タイムを設定してもよいのでは、という意見が出された。

周回チップを大阪マスターズ選手権(5000m、5000mW)と大阪マスターズ記録会(10000m、3000mW)で使用する。

南部忠平杯は、これまで通り100mで予選、決勝を行うとともに、大阪マスターズ陸上では、引き続きリレー種目(4×100m R、4×400m R)を実施する。

⑦大阪マスターズユニフォームの推進

クレーマージャパンのユニフォームを推奨。全日本リレー、クラブ対抗で使用するをもあり、ホームページで申し込みができるようにしている。

これに関し、山中副会長から、某スポーツ店から協賛金をもらっていたことがあるが、クレーマージャパンからは協賛金をもらっていないのか、との意見あり。

⑧購入物について

2026年度予算で用器具やパソコン等の購入をしたい。

i.砲丸(3kg・径109mm)

⇒紛失分の補充

ii.スターター・自動ピストル

⇒競技場備え付けのピストルに不具合が生じた場合のバックアップ用として購入する。なお、メンテナンスはスターターの奥田さんに委託する方向で保管場所を

含めて購入を決定する。

iv.競歩関係用具の購入

⇒競歩審判用の帽子、バインダー等必要な備品類を備え付ける方向で準備する。

v.情報処理用 PC の購入（12月13日の情報機器調整会議で論議済み）

⇒糸原理事から競技運営用に PC が 13 台あり 10 台以上が稼働しているが、これらのうち「写真判定」と「表彰」で使用している 2 台の PC について買い替えの提案があった。1 台@16～20 万円程度+ソフト 6,000 円の予算が必要であるが、新年度には購入したい。なお、買い替えの周期は考えていない

⑩データのクラウド管理の推進（情報の共有化の推進）

Google ドライブではなくアマゾンのファイルサーバーの使用を検討する。

⑪競技会後の情報共有のために開催日の翌週に Web 会議の開催を検討・実施する。

⑫各種部会等においては主任が会議録を作成して情報を共有する。

⑬第 32 回近畿マスターズ駅伝について

駅伝担当の升田昭理事から 3 月 8 日か開催の第 32 回近畿マスターズ駅伝（奈良・大和郡山市）の選手選考経過等について報告があった。なお、参加料は一人当たり 2,500 円（駅伝参加料；1500 円+弁当;1,000 円）とする。

第 4 号議案に対し、上記以外に意見・要望等が出ないため、議長が賛否を諮ったところ全員異議なく承認、可決された。

閉会

以上をもって特定非営利活動法人大阪マスターズ陸上競技連盟の第 47 回理事会の議案はすべて終了したため、議長は閉会を宣言した。（20 時 40 分）